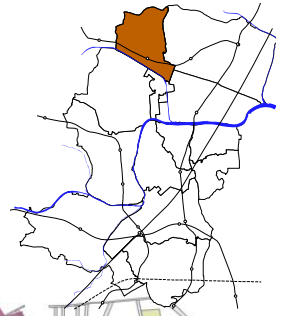


# みんなが笑顔、 助け合いのまち高田



## 1 高田地区の人口

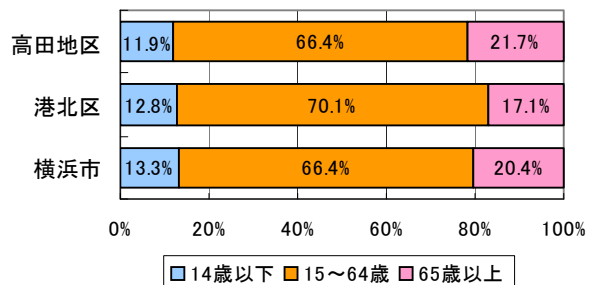
### 世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
高田地区	8,119	17,511	2.16
港北区	158,507	327,279	2.06
横浜市	1,707,980	3,702,388	2.17

\*平成 24 年 3 月末現在

\* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成  
\* 横浜市地形図複製承認番号 平 24 建都計第 9006 号

### 年齢3区分別人口構成



## 2 わたしたちのまちの特色

高田地区は、港北区の北東部に位置し、南部は戸建て住宅が多く、北部は農業振興地域として、畑と戸建て住宅が混在する地区です。南部では、平成 20 年 3 月に横浜市営地下鉄「グリーンライン」が開通し、駅周辺の整備も進んでいます。

高齢化率は 20%を超え (H24.3)、区内では 1 番高齢化が進んでいる地区です。一方、子育て世代の流入は、区の平均に比べてやや低くなっており、ここ 10 年間では人口の大きな増減は見られません。

地区には 8 つの自治会町内会があります。

## 3 これまでの頑張り

高田地区では、幾つかの自治会町内会が、災害時要援護者名簿を作成し、自治会町内会の各班長毎による名簿の所有・更新、マップに災害時要援護者情報を記載するなどの対策を進めてきました。

災害時要援護者対策が進んでいない地区においても、敬老の日に合わせ、高齢者の名簿づくりなどを行い、おおよその状況把握をしています。

## 4 これから目指していく姿

各自治会町内会の特性や状況に即した災害時要援護者対策を行い、各地域ごとにステップアップしていきます。

災害時要援護者対策への取組を通じ、となり近所の関わり、人と人のつながりをつくれます。

## 5 わたしたちのまちの取り組み

災害時に、要援護者が適確に避難できるような支援体制を整備するため、各自治会町内会で次の取り組みを推進します。

キーワード		取 り 組 み	
		目 標	具 体 策
つながる	理解	災害時要援護者支援・近隣の助け合いの必要性に関する理解を広げます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民アンケートを行い、必要性を喚起します。</li> <li>災害時の連絡網づくりの必要性や名簿作成の気運／雰囲気をつくります。</li> <li>一般の人に防災訓練参加を促すことで、体制づくりの基盤をつくります。</li> </ul>
	担い手	災害時要援護者の近くで、協力の輪を広げます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての自治会町内会エリアに協力者を配置します。</li> </ul>
つながる	知る	災害時要援護者を把握し、支援体制をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者を把握します。</li> <li>把握している要援護者を3分類し、情報の更新を行い、自治会町内会長が把握します。</li> <li>把握している要援護者をリスト化し、定期訪問等により情報を更新します。</li> </ul>
	活動	自治会町内会と民生委員が連携し、災害時要援護者支援の体制をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者名簿を自治会町内会と民生委員で共有します。</li> </ul>
つなぐ	情報	自治会町内会と地区社協が連携・協力し、要援護者支援の取り組みが地域に広く届くようにします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>高田地区社会福祉協議会の機関誌「翔」にコラムを設け、逐次取り組みを紹介していきます。</li> </ul>
	発見期	災害時のみでなく、普段から見守りを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者名簿を基にし、災害時のみでなく、普段から見守りを行う体制づくりを継続して行います。</li> </ul>

## 6 振り返りの仕方

計画策定委員会を計画推進委員会へ移行し、各自治会町内会ごとに取り組みを振り返ります。

## 7 各自治会町内会の取組

	取組み	
	目 標	具体策
<b>親和会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在取り組んでいる要援護者支援の取組みを継続します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしや集合住宅に住んでいる方で名前を把握していない方を名簿に載せ、名簿搭載率を100%に近づけます。</li> </ul>
<b>自治会 しらすか</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在取り組んでいる要援護者支援の取組みを継続します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に役員の目が届くように名簿の中身を強化します。</li> </ul>
<b>中央町内会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援者の人材の輪を拡げます。</li> <li>要援護者マップの精度を上げます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要支援者リストの精度を上げます。</li> <li>町会のリストと民生のリストのすり合わせを行います。</li> <li>町会役員と民生児童委員と認識の統一を図ります。</li> </ul>
<b>高田町内会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らし要援護者への声かけ訪問を強化します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者の見守り活動をします。</li> </ul>
<b>東町会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らし要援護者への声かけ訪問を強化します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練の積極的参加を呼びかけ、体制づくりの基盤を構築します。</li> <li>いっとき避難場所の徹底をします。</li> </ul>
<b>住宅親交会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者名簿を作成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者名簿の情報の更新を行います。</li> </ul>
<b>西原自治会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者支援の取組みを継続します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者名簿作成の理解を深める。</li> <li>必要性を喚起するための住民アンケートに取り組みます。</li> <li>災害時の連絡網づくりの必要性や名簿作成の気運/雰囲気をつくります。</li> </ul>
<b>住宅自治会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者支援の取組みを継続します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハートの会各委員（小グループ制リーダー・サブ）が中心となり、要援護者を主に緊急避難場所へ誘導訓練を行います。（5月～6月）</li> <li>要援護者リストの情報更新を行います。</li> <li>毎月1日朝9時より安否確認会を行います。</li> </ul>

## 8 「みんなが笑顔、助け合いのまち高田」計画推進委員会

委員長： 大賀 和夫

副委員長： 宮田 光明

推進委員： 高田町連合町内会、高田地区社会福祉協議会、高田地区民生委員児童委員協議会